

とちぎ農産物マーケティング協会 月刊情報 (21年5月号) vol.21

◆ 野菜部会全体会議

4月21日(火)、ホテルニューイタヤで全体会議を開催した。平成21年度の野菜振興方策と消費拡大に向けた取り組みを行うための事業計画や予算を承認した他、役員改選では、村上千秋氏(JAなすの ねぎ部会長)を再任した。また、7月29日(水)~30日(木)に本県で行われる、第54回全国野菜園芸技術研究会栃木大会についての準備状況の報告や、最新の農薬情勢についての研修も行われた。

◆ 2009食肉産業展

4月22日(水)~24日(金)までの3日間、東京ビックサイトで開催された「2009食肉産業展」に出展した。当協会のブースでは、栃木県を代表する「とちぎ和牛」の展示試食会及び、新鮮な「那須の白美人ねぎ」の試食も同時に実施し、ブランド農産物の知名度向上とイメージアップを図った。



地域ブランド農産物って？



気候や風土など、各地方の特色や個性を生かして栽培されている農産物の中で、特に今後地域として振興していく計画があるものを「**とちぎ地域ブランド農産物**」として認証しています。消費者にとって安心・安全な商品を提供したいという生産者のこだわりが深く、味や香りもこれぞという逸品揃いの農産物が認証されています。今年度第1号には「ヤシオマス」が仲間入りしました。

～ 認証されている農産物 ～

白美人ねぎ(大田原市)、はとむぎ(鹿沼市・小山市)、アスパラガス(宇都宮市・鹿沼市・下野市・上三川町)、メロン(真岡市)、ふき・ふきのとう(JAなす南管内)、中山かぼちゃ(那須烏山市)、喜連川温泉なす(さくら市)、かき菜(佐野市)、宮ねぎ(栃木市吹上地区)、ちぢみほうれんそう(JAおやま管内)、うど(大田原市、那須塩原市)、ひめきゅうり(栃木市)、こなす(佐野市)、巨峰(岩舟町)、ねぎにら(宇都宮市)、カリフラワー(小山市・野木町)・大平かぼちゃ(大平町)・日光りんどう(日光市)・高原ほうれんそう(日光市・那須塩原市)・大平ぶどう(大平町)・那須のりんどう(大田原市・那須塩原市)・ヤシオマス

◆ 「シェフの厳選食材《栃木》特選銘柄牛と郷土の味覚フェア」の開催（結果報告）

1月9日（金）～2月28日（土）の2ヵ月間、横浜ロイヤルパークホテル鉄板焼「よこはま」にて、「シェフの厳選食材（栃木）特選銘柄牛と郷土の味覚フェア」を開催した。

今年は、景気不況の影響もあり、ホテル・レストラン全体の客足が伸び悩むという状況であった。しかし、フェアメニューの注文率に関しては、ディナーは平年並み、ランチメニューは前年を上回る注文数となった。

また、新たに“とちおとめ”デザートメニューや、県産農産物を使用したメニューの提供も併せておこなった。特に、“とちおとめ”を使用した「とちおとめあんぱん」は連日完売！と大変好評で、箱崎ロイヤルパークホテルでも販売するまでになり、県産農産物のイメージアップ向上と販路拡大に繋がった。

ホテル側の声としても、「鮮度、品質ともに良い県産農産物に大変期待している。今後も継続的に開催したい。」と話している。

今後の予定

5月21日（木） とちぎ花フェスタ事務局員会議（県庁内会議室）

5月23日（土） とちぎ農産物クチコミ隊「いちご収穫体験」

いわふねフルーツパークにて、とちぎ農産物クチコミ隊「いちご収穫体験」を開催する。いちご収穫と併せ、トマトやなす苗植えなども行い、農業に対する理解促進を図る。

5月28日（木） 鉢物研究会総会（コンセーレ）

5月29日（金） 洋蘭全体会議（農業試験場）

5月29日（金） いちご部会全体会議（全農とちぎ生産資材部）

6月1日（月） とちぎフレッシュメイト選考会（昭和館）

多数の応募の中から第1次審査（書類選考）が行われ、6月1日に第2次審査（面接審査）で新しいメイトが誕生する。認証式は6月4日（木）。

6月3日（水）～4日（木） 全国スプレーマム大会（和歌山県）

6月9日（火） 果樹部会全体会議（JA会館 5-2会議室）

6月10日（水） 花き部会全体会議（ホテルニューイタヤ）

当協会の総会を6月25日（木）に予定しています。

（社）とちぎ農産物マーケティング協会（平成21年5月発送）

TEL 028 - 626 - 2150 FAX 028 - 643 - 7853

<http://www.tochigipower.com/>